

医療リハからの相談



令和5年5月に自宅階段から落ち転倒

12月に息苦しさから入院 訪問看護で状態観察

令和6年1月退院後、妻から閉じこもりが心配と包括へ相談

2月に腰の痛みが出現し、受診すると第2腰椎圧迫骨折が判明

医師より筋力アップ等の目的で医療リハが処方される。

- 医療リハ中の会話で「ジャズ」の話題で目がキラキラ輝き盛り上がった。
- 担当のリハ職から「ジャズが聞ける場所はないか」と担当CMに相談
- SCが実際に喫茶店を訪問し、店やマスターの雰囲気等を情報収集
- 情報収集したものをまとめて、担当のリハさんへ報告し、本人さんへ提案してもらった。
- 閉じこもりだった方が屋外歩行をしたいと前向きな気持ちが見られた。



この事例を通じて

- 実際にはまだ、医療リハ中で喫茶店へ行けてはいないが、目標ができたことで、閉じこもり傾向の改善も見込めるようになった。
- 普段から、包括とリハ職の連携がとれているからこそ、医療リハのみで終わることなく本人の強みを生かし、元の生活に戻るために必要なことがより共有できた。